2022 年度進捗報告書（実行団体）※報告期間：2022 年 4 月～2022 年 9 月末（公開されます）

- 提　出　日　：　2022 年 10 月 14 日
- 事　業　名　：　小児がん経験者の長期フォローアップ受診促進のために啓発活動
- 資金分配団体　：　公益財団法人日本対がん協会
- 実 行 団 体　：　公益財団法人がんの子どもを守る会
- 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　☐無

①　実績値

【資金支援】※事業計画からすべてのアウトプット、指標、目標値、達成時期を転記、指標は指標ごとに 1 行転記

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況 ※事業開始後の累計、月平均値など目標値と比較できる内容	進捗状況 *
本事業の広報活動を積極的に展開する	コンテンツ数	・ポスター、チラシの配布枚数、WebCM の放映期間	事業開始より終了まで	○チラシ作製枚数 第 1 弾 5,000 部 （2021 年度下期） ・チラシ配布施設数 154 施設 第 2 弾　イベント用 事業紹介チラシ （2021 年度下期） チラシ　2,000 部 ポスター　200 部	2

				第３弾　事業紹介チラシ　（2022 年度上期） チラシ　5,000 部 ポスター200 枚 〇Web 広告 （2021 年度下期より） 利用期間　12 ヶ月 HP 訪問（クリック）数 75,199 ・「小児・AYA 世代がん経験者みんなの健康管理サイト」を開設	
当会における相談の受け皿の整備する	件数	小児がん経験者から当会への問い合わせ件数２割増、小児がん経験者の健康管理に対する理解度 80 ％	事業終了時	2020 年度：154 件 2021 年度：166 件 理解度 80％はアンケート実施に至らず不明。	2
web 広告、ホームページを見たことでの問い合わせ	件数	小児がん経験者から当会への問い合わせ件数２割増、小児がん経験者の健康管理に対する理解度 80％	事業終了時	2021 年度：２件 HP 訪問（クリック）数 75,199	3

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
3.課題がある

2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☐変更なし　☑短期アウトカムの内容　☑短期アウトカムの表現　　☑短期アウトカムの指標　☑アウトカムの目標値 ※2020 年 3 月 31 日付の資金提供契約書に添付した事業計画書から変更がある場合、変更内容についてチェック
3. 活動に関する報告
■相談について 本事業を実施するにあたり、小児がん患児の親や小児がん経験等、小児がん関係者に対するヒアリングを通して意見を集約するとともに、小児がん医療関係者及び小児がん経験者が構成するアドバイザリーボードによる会議を開催した。この会議からの提言や当会の小児がんに関わる相談事業の実績を踏まえ、相談を受ける際の様々なケースを想定した対応フローを作成し、また本事業専用のヒアリングシートシートを作成した。この相談シートには、継続する相談にも対応でき、必要情報を過不足なく取得できるような工夫を施した。また、本事業の推進のため、当会のソーシャルワーカーによる定期的なカンファレンスを月に 2 回開催し、相談の内容とその対応について、ソーシャルワーカーの間で情報を共有し、以後の対応について検討してきた。小児がん経験者からの相談件数については、2022 年度が 154 件、2021 年度が 166 件となっている。また、専用のヒアリングシートの活用を始めた 2021 年 10 月～2022 年 8 月での集計になるが、長期フォローアップに関する相談は 11 件であり、その内、長期フォローアップの受診に繋ぐための継続案件が 1 件ある。なお、小児がん経験者からの相談においては、精神的に不安定な場合もあり、長期フォローアップのことではないものの、相談を通じて精神的サポートになっているケースもある。 ■ハンドブックと長期フォローアップ外来一覧の作成 本事業を進めるにあたり当初の計画にはなかったが、健康管理に関するハンドブックと長期フォローアップ外来一覧を発行し情報提供することの必要性を認識し、作成している。本年 11 月に頒布予定。長期フォローアップ外来一覧は、問合せの窓口掲載や、施設から 100 文字程度のコメントもいただき、その施設の状況が伝わるように工夫した。 ■小児・AYA 世代がん経験者みんなの健康管理サイト 訪問状況は実績値で報告の通りだが、閲覧状況については、小児がん経験者の健康管理の概説を書いたページが一番多く、次いで Yes、no で自分の健康管理の方法を提示するフローチャートのページであった。また、コンテンツとして小児がん経験者の経験談等を追記したり、

小児・AYA 世代がん経験者を対象としたイベント情報を掲載したり、小児がん経験者の閲覧を増やすようにサイト活用の促進を図った。 ■周知・広報活動 本事業を広報するための Web 広告については定期的な見直しを図った。具体的には次項の「5，事業で直面している課題」に記載したように、周知・広報活動の不足によるものか、現状では効果が未だ十分現れず、問い合わせ件数に伸び悩みがあったため、金額の設定や広告を出すターゲットを絞るなどの設定を変更した。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点　特段変わってなければ中間報告と同様の内容でも可

③広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　　☐広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報　期間 2022 年 4 月～2022 年 9 月、必要と思われれば 1 年分を記載
・広報チラシ配布 小児がんを診療する病院に配布 ・Web 広告の利用 Yahoo！、google、LINE の各種広告を利用 表示回数：約 9,300 万回（Yahoo！）約 505 万回（google）